

令和8年上半期火災・救急・救助概要について(速報値)

火災概要

令和8年上半期(1月～6月)の火災件数は10件で、前年同期に比べ3件増加しました。
このうち建物火災は5件で、前年同期に比べ増減はありませんでした。そのうち住宅火災は3件で、1件減少しました。また、火災による死傷者は2名(死者0名、負傷者2名)で、いずれも建物火災で発生しています。
損害額は26,968千円で、前年同期に比べ7,078千円減少しました。
出火原因は「こんろ」、「放火」、「火入れ」等がありました。

区分		年	令和8年(上半期)	令和7年(上半期)	増減
火災件数	建物火災		5(住宅3)	5(住宅4)	
	林野火災				
	車両火災		2	1	1
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災		3	1	2
	合計		10	7	3
焼損棟数			5	5	0
り災世帯数			3	4	▲ 1
面焼積損	建物床面積 (㎡)		369	497	▲ 128
	建物表面積 (㎡)		1	7	▲ 6
	林野 (a)				0
損火害額(千円)別	建物	建物	22,787	27,561	▲ 4,774
		収容物	973	6,264	▲ 5,291
	林野				
	車両		3,200	220	2,980
	その他		8	1	7
	合計		26,968	34,046	▲ 7,078
死者数			0	1	▲ 1
負傷者数			2	3	▲ 1
焼火損元程建物	全焼		2	2	0
	半焼		0	1	▲ 1
	部分焼		0	1	▲ 1
	ぼや		3	1	2

救急概要

令和8年上半期(1月～6月)の救急出動件数は2,463件でした。前年同期に比べ172件(6.5%)減少しました。

1日あたりの平均出動件数は約14件でした。5年前の同時期と比較すると471件増加しており、この5年間で約24%増加したことになります。

搬送人員は2,197人で、市民の約47人に1人が救急搬送された計算になります。また、搬送人員のうち、約7割が65歳以上の高齢者でした。傷病程度別では、中等症が48%、軽症が41%を占めました。

区分		年	令和8年(上半期)	令和7年(上半期)	増減
救急出動件数	急病		1,538	1,669	▲ 131
	交通事故		137	124	13
	一般負傷		426	487	▲ 61
	転院搬送		278	271	7
	その他		84	84	0
	合計		2,463	2,635	▲ 172
救急搬送人員	急病		1,356	1,420	▲ 64
	交通事故		103	104	▲ 1
	一般負傷		407	445	▲ 38
	転院搬送		278	270	8
	その他		53	46	7
	合計		2,197	2,285	▲ 88
傷病搬送人員別	高齢者		1,533	1,641	▲ 108
	成人		509	516	▲ 7
	少年		68	49	19
	乳幼児		86	77	9
	新生児		1	2	▲ 1
傷病搬送人員程度別	死亡		57	63	▲ 6
	重症		187	254	▲ 67
	中等症		1,059	1,017	42
	軽症		894	951	▲ 57

救助概要

令和8年上半期(1月～6月)の救助出動件数は24件で、前年同期に比べ増減はありませんでした。救助活動件数は16件(前年同期18件、2件減)、救助人員は16人(前年同期18人、2件減)となりました。事故種別では「交通事故」が12件で、全体の半数を占めました。

区分		年	令和8年(上半期)	令和7年(上半期)	増減
出動件数			24	24	0
活動件数			16	18	▲ 2
救助人員			16	18	▲ 2